

■ 経緯・目的

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、県内で高齢者入所施設でのクラスター発生が散見される状況を懸念した市内病院の感染管理認定看護師から、施設へ出向く形での感染症対策支援を行いたいという申し出があり、特別養護老人ホーム（多床室）とグループホームでの実施に至ったもの。各施設の実情に合わせた専門的な助言を通じて、感染症対策の充実・標準化を図る。

■ 実施状況

※令和2年10月～令和3年2月までの実績

(1) 実施場所：特別養護老人ホーム：4ヶ所、グループホーム：2ヶ所

(2) 実施者：感染管理認定看護師（3名）※感染制御実践看護師1名含む

国立がん研究センター東病院、柏厚生総合病院、辻仲病院 柏の葉

保健所：保健予防課、保健福祉部：高齢者支援課、法人指導課、地域医療推進課

時期	実施内容
事前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策改善アクションチェックリスト・質問事項の提出 ・ 「社会福祉施設介護職員等向け新型コロナウイルス感染症対策動画」（千葉県HP）を施設内で視聴
当日	認定看護師から事前提出物への回答と助言・質疑応答 個人防護具着脱実習 施設内ラウンド・対策のポイント助言・質疑応答
事後	ラウンド結果（GOODポイントと改善点）資料フィードバック 施設職員アンケート実施



指摘箇所	指摘内容
	水回りだけでなく業務用トイレも、手を拭く紙が置き型で設置されています。取り出す際に汚染されているので、置き型容器に引き出して使用できるようにホルダーをご検討ください。
	面罩は両側の接触は極力ないように実施してください。同じホルダーを使用する場合は、1つ間隔をあけて使用することもご検討ください。また、手が触れるところを中心に定期的にアルコール製剤で消毒しましょう。面罩は個人のものですので、消毒はしなくても問題ありません。

助言箇所と良い対策の両方を写真とともにフィードバック

良かった箇所	その理由
	入れ換入れは、蓋があり汚染しにくく、GOODです。（下のタオルは数がないことをお勧めします。）
	面罩は、個人のコップに入っておりこの点はGOODです。できれば、コップの距離をあけて面罩が接触しないようにしましょう。（感染症にもウイルスが食われるため）難しい場合は、部屋毎、食事のテーブル毎にまとめて保管しましょう。

※その他のGOODポイントは、講師が行き届いていない点や事業者の職員立ち入りが見えにくい状態になっていた点、ユニット内で発生した場合のゾーニングが明確になっていた点などは挙げられませんでした。

■実施後アンケート

施設	内容
特別養護老人ホーム	<ul style="list-style-type: none">・現場指導でなければわからない，施設独自の不安箇所や各職員の疑問に，直接アドバイスいただけたのは貴重な機会になった。・専門知識が豊富で頼もしく，感染対策のポイントを再確認できた。・現在の対策で正しいのか不安があったが，チェックリストを通じて自施設に不足していることを確認でき，整理ができた。
グループホーム	<ul style="list-style-type: none">・認知症の方が暮らす施設のため，マスク着用や発熱時の居室隔離が難しい現状がある中，実際に事業所内を見てもらい専門的なアドバイスをいただけたことがよかった。・自事業所の改善点を客観的に考える機会になった。・資料等を見ながら手探り状態だった対策に，的確な指示をもらえた。

■成果

- ・実施している対策の確認と，必要かつ実行可能な対策への助言を通じて，施設職員が**感染対策についての正しい知識を獲得できる機会**になったとともに，**不安の解消**につながっている。
- ・施設側の**実情にあわせた対策の良い面（GOODポイント）もフィードバック**することにより，施設職員の**さらなる対策への動機づけ支援**も行われている。
- ・市内病院の貴重な人材と施設職員との**顔の見える関係づくりの機会**となり，相談し合える関係づくりのきっかけとなった。⇒**★医療・介護連携の推進の機会となっている**